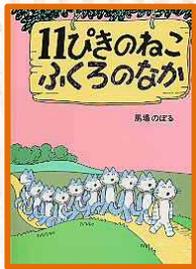


大好き！絵本

初瀬 恵美



『11匹のねこ
ふくろのなか』
さく・絵：馬場のぼり
出版社：こぐま社

10月に入り、運動会まで、もう少しになりましたね。今、きら組で、大人気の絵本が「11匹のねこシリーズ」。

運動会では、3歳児（ひばり）が『11匹のねこ』、4歳児（めだか）が『11匹のねこ ふくろのなか』の絵本をテーマにして、ねこになりきって、体を動かします！

今月紹介するのは、4歳児がテーマにしている『11匹のねこ ふくろのなか』です。これはシリーズ7作ある中の4作目にできた絵本で発行されてからもう30年以上経ちます。

ある日、遠足へ出かけた11匹のネコたち。その途中、『はなをとるな』、『きけん！はしをわたるな』、『木にのぼるな』など立て札がたっていました。「～するな」と書かれているにもかかわらず、やってしまうのが、ねこたち。そんな悪さをしながら遠足を続けていくと目の前に大きな袋を見つけます。そのすぐ隣には『ふくろにはいるな』と書かれた看板が……。そして、やっぱり入ってしまうねこたち。でもそれは、高い山に住んでいる怪物のウヒアハが仕掛けた罠でした。ウヒアハに捕まり過酷な仕事をさせられるネコたちは、何とかその場から逃げようと知恵を出し合います。さて、ねこたちは、この危機をどうやって乗り切るのでしょうか！

「～するな」と言われたら、逆に「したくなる」という深層心理は誰にでもあるもの。特に子どもたちは、「～しないで」というと、ニコニコしながらするってこと、多いですね。ねこたちと子どもたちの姿がとってもよく重なります。でも「～するな」ということをしていると痛い目に合うということも、絵本の中には描かれています。それがウヒアハという怪物に捕まり、過酷な仕事をさせられるということなんです。しかし、教育絵本に終わらないのがこの絵本の作者、馬場さんのいいところ！ユーモアたっぷりで、絵本を展開します。ちょっと、いたずらで子どもっぽいねこたちですが、いざというときやピンチのときは、団結力が

あります。また、とらねこ大将のリーダーシップもなかなかです。とても人間臭いねこたちの世界をお楽しみください。

ちなみに、とらねこ大将以外は、顔も姿も、そして性格もそっくりなねこたちですが、兄弟でも家族でもない「仲間」だそうです。

